

日程

全18日
(3日×6回)

- ① 2026年 6月17日(水)～19日(金)
- ② 2026年 7月22日(水)～24日(金)
- ③ 2026年 8月26日(水)～28日(金)
- ④ 2026年 9月16日(水)～18日(金)
- ⑤ 2026年 10月21日(水)～23日(金)
- ⑥ 2026年 11月18日(水)～20日(金)

会場

中小企業大学校九州校
(福岡県福岡市博多区綱場町2-1 博多FDビジネスセンター)

受講料

182,000円(税込)

定員

20名

生産管理の実践力を磨き、工場の体質強化を実現する管理者へ！

工場管理者には、工場の管理・運営についての幅広い知識を習得し、現場でうまく周囲を巻き込みながら、改善活動を行うことが必要となります。

本研修では、工場管理に必要とされる体系的な知識及び手法を習得し、演習や課題研究等の実践的なプログラムを通じて、顧客の求める品質(Q)、原価(C)、納期(D)を満たすための効率的な工場管理とその運営ポイントを把握し、実践力と総合力のある工場管理者の養成を目指します。



研修の特色

①体系的なカリキュラム

- ・ 演習やグループディスカッションを交え、生産管理の基礎知識から実践的手法まで学べます。
- ・ 学んだ内容を即、自社で展開して実際に活用していただけるようにインターバル期間を設けています。

②少人数制のゼミナールとレポート発表会

- ・ 実践経験豊富な講師の指導のもと、自社課題テーマの改善策を策定・実践に取り組んでいきます。
- ・ レポートの発表会には派遣元企業にもご参加いただき、受講生の取り組みや成長を確認できます。

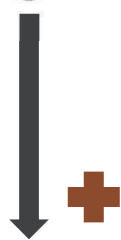
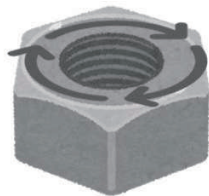
③人的ネットワークの形成

- ・ 受講生同士の意見交換や交流を通じて、視点や考え方が広がり人的ネットワークを形成することができます。

カリキュラム構成

工場管理の基本と 現場改善手法の習得

- ・ 工場管理の基本と工場管理者の役割
- ・ 5Sの進め方
- ・ 生産現場の改善手法
- ・ 原価管理・コストダウンの方法
- ・ 品質管理の進め方
- ・ 生産計画と生産統制
- ・ IT活用による生産性向上策



ゼミナール (自社課題の解決)

- ・ 自社の現状分析
- ・ 課題抽出
- ・ 改善策の検討
- ・ アクションプランの作成と実施
- ・ 発表会(レポート発表)

受講生間で情報交換
人的ネットワーク形成

工場全体の視点から生産現場の体質強化へ挑戦！

講師紹介(ゼミナール担当)

北村 正良(きたむら まさよし)
中小機構 中小企業アドバイザー(経営支援)

大手金属加工メーカーでは生産技術、大手住宅設備メーカーでは製造、購買、事業企画等に携わってきた。
現在は九州本部 中小企業アドバイザーとしてハンズオン支援事業を担当。主に現場改善、生産管理、原価管理、物流改善やシステム導入などのテーマに取り組んでいる。



西田 正則(にしだ まさのり)
にしやん 代表

大手住宅メーカーの工場にて、生産管理から、製造、品質管理と経験し、プロパー初の工場長を務める。
TPS(トヨタ生産方式)の実践やISO取得を推進し、様々な改善活動を実施。早期退職後は、地場の中小企業の支援を「改善パートナー」として5Sから「見える化」を進めて、改善につなげている。
最近では、改善のデジタル化として、ITやIoTにも取り組んでいる。



矢嶋 博文(やなる ひろふみ)
中小機構 中小企業アドバイザー(経営支援)

大手総合電機メーカーでパソコン・日本語ワープロのソフト開発に従事後、別の大手総合電機メーカーの九州拠点でソフト技術者として勤務。生産技術課長、海外工場長、製造部長を歴任し、製造・品質・開発に精通している。
現在は九州本部 中小企業アドバイザーとして生産工程スマート化診断やハンズオン支援事業で5S活動支援や自動化に向けた生産工程分析等の製造現場の改善活動支援を担当している。



加藤 圭示(かとう けいじ)
中小企業診断士事務所きづきの 代表

金型メーカーにて工場立ち上げ、技術開発、情報システム構築等に携わった後、中小企業診断士として独立。独立後は、中小企業を対象に、生産管理、在庫管理等の改善の支援や、生産管理システム、販売管理システム等の情報システム導入の支援を行っている。課題解決の際に、解決策等を考える上での前提となる現状把握を得意としている。



カリキュラム概要

第1回

工場管理者の役割

6月17日(水)～19日(金)

- 1.工場管理者の役割
工場管理者に求められる役割と能力
生産管理の基礎知識
生産現場における問題解決の考え方
- 2.5Sの進め方
5Sの意義と目的
5Sの実践と留意点
- 3.ゼミナール・オリエンテーション
ゼミナールの進め方の説明

第4回

原価管理

9月16日(水)～18日(金)

- 1.生産管理のスキル②「原価管理」
原価の仕組み
原価計算と原価管理
コストダウンのアプローチ法
事例研究
- 2.中小企業支援施策の活用法
中小機構の実施する支援施策の活用法
- 3.ゼミナール ③
生産現場の改善策の立案(自社演習)

第2回

生産現場の改善手法

7月22日(水)～24日(金)

- 1.生産現場の改善手法
現場改善の目的と考え方
現場改善と目で見える管理
改善活動を定着化させる取り組み
- 2.ゼミナール ①
生産現場の改善策の立案(自社演習)

第5回

納期管理

10月21日(水)～23日(金)

- 1.生産管理のスキル③「納期管理」
納期管理の基本
生産計画の立て方
工程管理とリードタイム短縮
事例研究
- 2.ゼミナール ④
生産現場の改善策の立案(自社演習)

第3回

品質管理

8月26日(水)～28日(金)

- 1.生産管理のスキル①「品質管理」
品質管理の体系と手法
統計的品質管理の進め方
QC7つ道具の活用方法
事例研究
- 2.ゼミナール ②
生産現場の改善策の立案(自社演習)

第6回

生産性向上策

11月18日(水)～20日(金)

- 1.事例で学ぶITを活用した生産性向上策
生産管理を行う上で必要なITの基礎知識
生産現場でのITの活用策
IT活用による生産性向上策(事例)
- 2.ゼミナール ⑤
生産現場の改善策の立案(自社演習)
- 2.ゼミナール ⑥
研究課題発表会

受講者の声(九州校 第2期)



株式会社ミートクレスト
製造部 部長 吉武 泰史 さん

◆受講動機

より良い工場運営を実現するために、管理者としてのスキルを高めたいと考えていたところ、会社から本コースの紹介を受け、内容に強く関心を持ち受講いたしました。

◆実際に受講した感想

今回の工場管理者研修を通じて、問題や課題解決するための自身の選択肢の幅がひろがったことと、既存の課題をより深く掘り下げられたという2つの成果を得ることができました。

研修中には、課題達成するための目的をもったQCサークル活動を立ち上げることができ、受講前には考えてもいなかった取り組みを実

現できています。

今後は、研修で学んだことを日々の業務に活かし、仕事の進め方を見直すことで、部内の仕事への向き合い方の変化をさらに促していきたいと考えています。研修で得た経験を最大限に発揮し、より良い職場づくりにつなげてまいります。

◆受講推薦の言葉

ただ問題と答えを教えていただくのではなく、その仕組みや実行までの進め方を、受講者それぞれの課題に合わせて導いていただけます。全6回の研修を終えた今は、「水与えられるのではなく、水のつくり方を教わった」と感じています。

会社(上司)から「行きなさい」と言われて参加した方も多くいらっしゃいましたが、終了後には皆が「来てよかった」と口をそろえていました。私自身もこのような貴重な経験をさせていただき、心から感謝しています。この研修は、自身や組織の課題解決に必ず役立つかと実感しています。